



みけつくに

御食国食文化

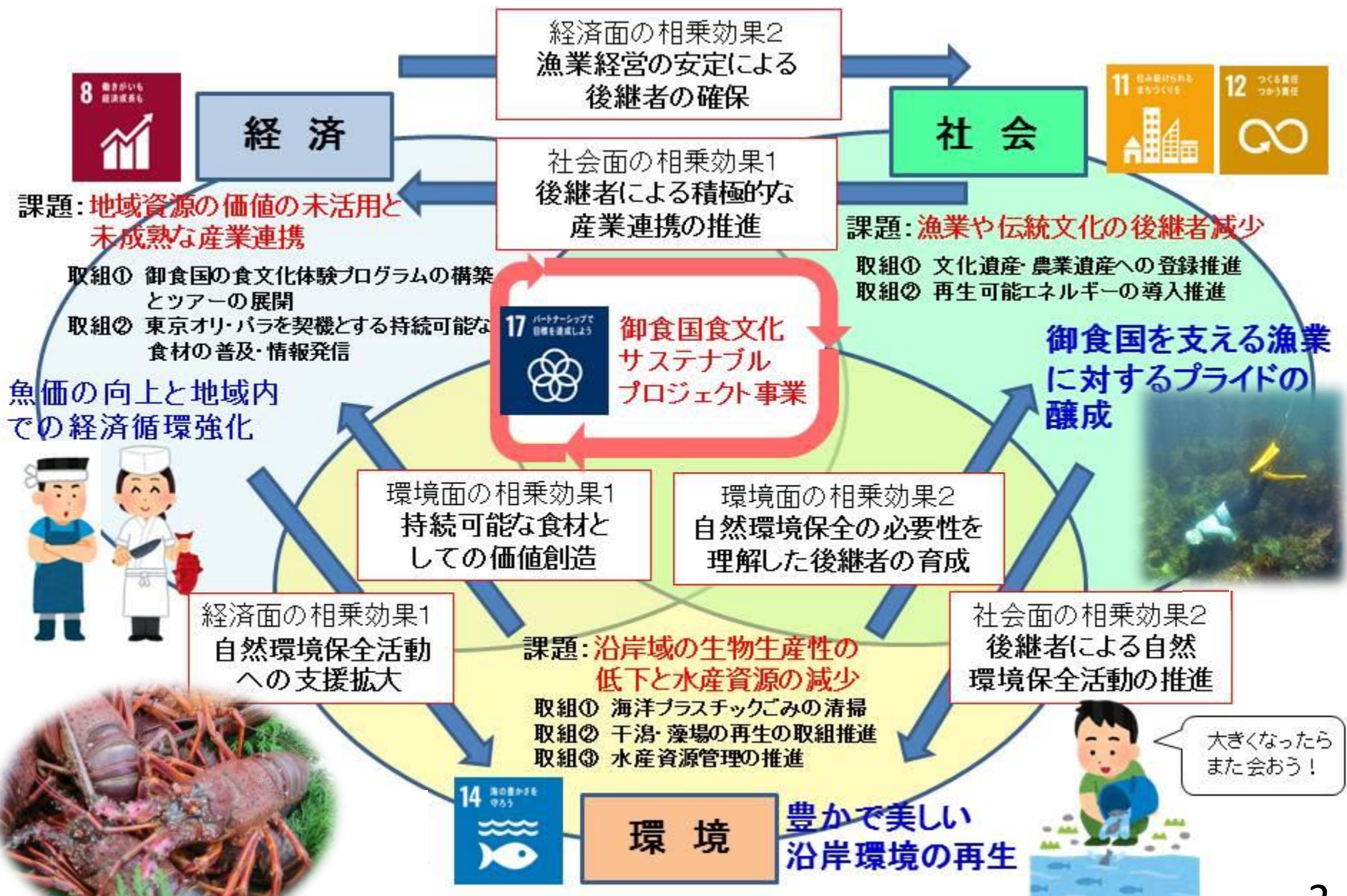
サステナブル事業

三重県 志摩市



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs 未来都市 三重県志摩市
SDGs Future City, SHIMA



2021年第9回太平洋・島サミット 三重県志摩市開催地に決定

11月14日 第9回太平洋・島サミットの三重県開催の要望



2021年に開催される「第9回太平洋・島サミット」の開催地を志摩市に誘致するため、鈴木知事と首相官邸を訪問し、菅義偉官房長官と杉田和博副官房長官に要望書を提出しました。

志摩市長、知事と喜び語る 島サミット誘致



太平洋に点在する島しょ国・地域を招き3年に一度開く「太平洋・島サミット」の次回2021年の開催地に「志摩市を中心とした伊勢志摩地域」が決まったことを受け、志摩市の竹内千尋市長は4日、県庁を訪れて鈴木英敬知事と喜びを分かち合った。3日に外務省から決定の連絡を受けたという竹内市長は「成果が実って大変うれしい。伊勢志摩サミット開催から5年の節目での開催は意義深い。ワクワクドキドキしながら準備をがんばりたい」と歓迎。鈴木知事は「誘致が実現し、うれしく、感謝したい。志摩市でやってよかったという仕掛けを一緒にやっていきたい」と意気込んだ。

スペインとの交流(ホストタウンとしての取り組み)



交流のきっかけ

テーマパーク「志摩スペイン村」

リアス海岸

女性シェフの活躍を通じた女性のエンパワーメント

これまでの交流

スペインから志摩市視察へ (R1.8.9~12)

- * スペイン・トライアスロン連盟強化部長(監督長)と監督による事前視察
- * 事前キャンプ地決定による協定調印

志摩市長スペイン訪問 (R1.11.5~9)

- * スポーツ庁、バスク自治州首相公邸、サンセバスティアン市庁舎訪問

在日スペイン大使志摩市来訪 (R1.12.16)

- * ホルヘ・トド・アルビニャーナ在日スペイン大使と大使夫人が横山視察
- * 志摩地中海村(レストラン:リアス・バイ・ココチャ)訪問、知事主催の夕食会

スペイン食文化講演会

「スペイン美食の秘密~海藻を利用して~」(R2.2.22)

《 講師 》

- * スペイン料理文化アカデミー 主宰 渡辺 万里 氏
- * スペイン・ガリシア「ア・タフォーナ」女性シェフ ルシア・フレイタス



ホセ会長と竹内志摩市長
事前キャンプ協定調印



スペイン・トライアスロンナショナル
チームのユニフォームを持って記念撮影



未活用森林資源（ジビエ・備長炭）を活用した 地域内経済循環の創造

志摩市の森林に多いウバメガシは、備長炭の原木。
また、ウバメガシやコナラなどのドングリを食べるイノシシなどは非常に美味しく育つ。



志摩市の森林率は51%
ドングリなどの広葉樹林
が広がっているよ！



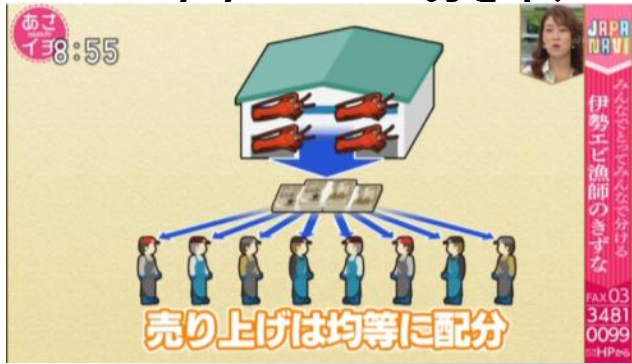
- 12 つくる責任
つかう責任
- 13 気候変動に
具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも
守ろう
- 17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

サステナブル・シーフードの供給に向けて

持続可能なイセエビ漁の実践

競争を止め、プール制(共同操業・均等分配)に移行して、資源管理を強化し、操業コストを削減。

2020/2/6 NHK あさイチ



2018/11/20 水産経済新聞

SDGs 未来都市で先行 持続可能なイセエビ漁へ

三重県志摩市和具地区

国連の持続可能な開発目標(SDGs) 未来都市に選定された三重県志摩市は、漁業者らが映像を交えて解説。参加した飲食店や観光客は、共同操業の仕組みについて、漁業者らから話を聞いた。和具地区でイセエビ漁を通じて海の豊かさを守る取り組みを紹介した。同市和具地区

網漁業を営む「和具海岸網漁業同業会(小磯幸保会長)は、20年ほど前から漁にプール制を導入している。一人当たり網数を減らし、船の相乗りなどを減らす一方、確実に型を下げ、振り返った。そのよいイセエビを漁獲できる漁場を保全した。その結果、収益性の向上に成功し、実施期間や漁場を拡大させ現在のルールを確立、順守している。採捕禁止サイズも、県の漁業調整規則より50%大きい120g以下とする。自主規制を導入した。小磯会長は「小型エビを海に放せば翌年の金になる。それを自分たちが経験し、価値を共有できたから続けられている」と、振り返った。それでも組合員26人のうち、後継者がいる人は6人にとどまる。隣接地区との競合や、イセエビ以外の漁が乏しいためで、「20年先でも現在の収益を出し続けられるか」(小磯会長と、将来に不安を抱える。同日は、海の未来を考える料理人集団「シエフス・フオー・ザ・プール」のメンバーも登壇、現地視察で見聞きした情報を伝えた。麻布長江香福延の田村亮介シエフは「取り組みの背景をお客さまに直接伝えられるのも武器」とし、料理人としての支援を約束した。

14 海の豊かさを
守ろう

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



再生可能エネルギーを導入・・・エシカルな真珠養殖



長野県企業局 高遠さくら発電所

みんな電力株式会社

ブロックチェーンを活用して電力を供給



志摩市の真珠養殖作業場

《長野県》
長野県中島副知事(当時)

女性グループの交流

女性のエンパワーメント

志摩市の真珠養殖と長野県で再生可能エネルギーに関わる女性グループの交流と活動の促進

《志摩市》
立神真珠養殖組合女子部

海洋プラスチックごみ

海洋廃プラスチックを原料とする糸を活用した真珠のネックレスなどの製品化を行う



真珠のネックレスの糸に活用

海洋プラスチック問題に関する取り組み

「BLUESANTA ～海と日本プロジェクト～」への参加



令和元年7月15日、「海の日」に合わせて、「きれいな伊勢志摩づくり連絡会議」主催で国府白浜海岸で海岸清掃を行いました。三重県、南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議、きれいな伊勢志摩づくり連絡会議、日本サーフィン連盟や市内ボランティア団体の皆さまと協働で行いました。同時に日本財団が主催する「BLUESANTA ～海と日本プロジェクト～」に参加しました。また国府白浜海岸は多くのサーファーの人がサーフィンを楽しんでいる人気の場所です。サーファーの皆さまも定期的に海岸清掃を行ってくださったり、気づいた漂着ゴミを日常から拾っていただくなどの取り組みをしていただいています。



実施計画について

理解を深め、行動に移る
きっかけに！



プラスチックスマートシンポジウム開催

- スペイン生まれのサステナブルファッションブランド「エコアルフ(ECOALF)」より講師を招き、基調講演・有識者による講演を実施。動機づけや意識向上を図る。
- 漁業者の協力も得ながら、志摩市で回収された漁網などのプラスチック由来の海洋ゴミを活用できるスキームを、ホスタウンの相手国であるスペインの「エコアルフ(ECOALF)」と協働してつくり、その結果を発表していく。

企業連携



エコアルフ訪問、打ち合わせの様子

地元水産高校との連携

- パラオとも交流の深い三重県立水産高等学校の実習船による外洋での海水サンプリング(マイクロプラスチックの分布状況調査)

学校連携



水産高校 実習船「しろちどり」

エコプロへ出展・PR活動

- 立神真珠養殖組合女子部とともに、エシカルパールのPR活動を行うことで、志摩市の持続可能な活動を情報発信する。

“御食国”の食文化を通して
未来につなぐまちづくりを進めます！

GO! SDGs!!

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS